

授業科目名	保育実習指導 I	担当教員名	森下 真由美 入江 実
必修/選択	必修(保育士資格)	開講学年・学期	期間 期間 (年間開講数 2講座)
科目区分	保育に関する科目	単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	演習 / オムニバス
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。/児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の到達目標	(1)保育実習の意義・目的を理解する。 (2)実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。 (3)実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 (4)実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。 (5)実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。		
授業の概要	保育士の資格を取得するための必修科目である。保育実習の目的、内容、方法を理解し、実習生として必要な知識・技術を習得し、実習に対する意欲を高める。事前指導においては、実習における学びを有意義なものとするために、保育所実習の意義・目的を理解するとともに、実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。また、観察や記録の仕方、内容などについても学習する。事前事後指導においては、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 (2年次) 1年次の学習内容の理解を深め、実習に生かしていく。		
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社) 『月刊 保育とカリキュラム』(ひかりのくに) 『よくわかる保育所実習』(創成社) 新聞記事等		
成績評価の方法	参加意欲…10% 小テスト…20% 提出物…20% 定期試験…50%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	事前指導① 保育所とは(保育時間・保育年齢・職員・遊びと生活等) 実習の意義・目的を理解し、実習内容を把握する		
第2回	事前指導② 保育所の役割と保育所保育の特性(保育において大切にしたい事) 保育実践(絵本の読み聞かせ・手遊び)		
第3回	事前指導③ 子どもの生活と実習のポイント(プライバシー保護と守秘義務について、実習内容の理解) 実習関連事務手続きについて・実習記録用紙等配付、説明		
第4回	事前指導④ 実習記録の記入について 保育用語確認		
第5回	事前指導⑤ 年齢に合わせた子どもの生活と遊びについて 指導計画の意味を考える 指導計画作成について(設定保育指導案)		
第6回	事前指導⑥ 実習前の心構えと諸注意について お礼状について 実習園での事前オリエンテーションについて ペーパースーツ(スケッチブック、紙皿)紹介及び制作 事前チェックシート記入		
第7回	事後指導① 保育現場での子どもの実際と保育者のかかわりについて 実習配属年齢別グループ討議を通して振り返る		
第8回	事後指導② 保育現場での子どもの実際と保育者のかかわりについて 実習配属クラス別発表 それぞれの保育現場において大切にされている事から学び合う 学びから実習生としての次回への課題 自己反省 評価 実習記録提出		
第9回	施設見学事前学習 見学予定先の「社会福祉施設」の概要についての知識的理解		
第10回	施設実習事前指導① 施設の種別についての理解 目的、ねらい確認 子ども(利用者)理解について(人権尊重、最善の利益)		
第11回	施設実習事前指導② 施設における実習内容の確認 注意事項確認		
第12回	施設実習事前指導③		
第13回	施設実習事後指導① 施設種別グループ討議 施設ごとの違いから、共通している大切にしたいことを確認する。		
第14回	施設実習事後指導② 施設種別グループ発表 様々な種類の施設についての報告から学ぶ 施設における様々な役割について考察する		
第15回	施設実習事後指導③		

授業計画	授業の内容	到達目標番号
	授業の内容	到達目標番号
第16回	施設実習事後指導④	
定期試験	レポート提出	